

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB1	科名	ファッション流通科1年	単位	2単位
科目コード		科目名	コンピューターワーク	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 高橋 翼	共同担当者 : 塚田 大祐
-----------------	---------------

**【授業概要、到達目標・レベル設定】**  
 オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本操作を学びながら、目的・用途に応じた使い分けを可能にし、表現方法に広がりを持たせることを目標とする。  
 ・グラフィック系ソフト: Adobe Illustrator / Photoshop      ・オフィス系ソフト: Microsoft Excel / PowerPoint

- オリエンテーション
  - 教室利用の注意事項、ログイン方法、タイピング練習など
- PowerPoint
  - ツール基本操作、スライドの作成、画像の利用、アニメーション・画面切り替えの設定など
- Excel
  - 表作成および四則演算、基本関数、グラフ作成など
- Photoshop
  - 画基本操作、画像の切抜き方法（マスクの理解）と画像合成
  - 各種画像フォーマットのデータ保存など
- Illustrator
  - 基本操作（図形描画、文字入力、着色、図形の変形、レイヤーの理解など）
  - 図形を組み合わせたイラストの作成
- 産学プロジェクト
  - ポスター、カタログ、DM、パワポなどの資料作成など
- Photoshop / Illustratorの連携操作による課題制作
  - 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明
  - 画像、図形、文字を組み合わせたレイアウトの基本と各種データ保存

**【評価方法】**  
 評価基準：学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書
参考図書
その他資料

**授業の特徴と担当教員紹介**  
 パソコン初心者であることを前提に、ソフトの基礎・応用を課題制作を通して習得することができる。  
 塚田 大祐  
 Web サイトディレクション・制作・運営、DTPによるカタログ、チラシ制作を手掛けながら、企業・大学・専門学校にて、Web デザイン・グラフィックデザイン・オフィスソフトの基本操作や目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を20年以上に渡り実施。  
 高橋 翼  
 デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13512	科名 ファッション流通科2年スタイリストコース	単位	1単位
科目コード 613000	科目名 ディレクションワーク	授業期間	後期

担当教員(代表)： 横堀良男 (横堀洋一)	共同担当者：
-----------------------	--------

**【授業概要、到達目標・レベル設定】**  
スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的実現のためには、何をすべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有する方法を学ぶ。

**【授業計画】**＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

①カラーシュ制作  
スタイリスト(またはビジネスパーソン)として、クライアントの期待(想像)をどのようにして、120%越えるディレクションを提案できるようになるかというトレーニング。

②企画提案・情報収集  
プレゼンテーションの基本構成の作り方を学ぶ

③企画を詰める  
収集した情報から、企画案を複数考える。  
企画案を一つに絞り、原稿のプロットを作る。

④原稿の作成  
プレゼンの原稿を作る。プレゼンテーションをする準備をする。  
スライドを作成・プレゼンテーション(スピーキング)の練習をする。  
短い時間でプレゼン資料の作り方を学ぶ。

⑤プレゼンテーション  
ラポール、スピーキングなど、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。  
3分プレゼンでの全体発表をする。大人数の前でプレゼンテーションしても、十分なアクションとスピーキングでビジネスチャンスを獲得できるようにする。

**【評価方法】**  
S～C・F 評価 評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

主要教材図書
参考図書
その他資料

**授業の特徴と担当教員紹介**  
海外アジアのブランド企業、ファッションウィーク、ショッピングモール、小売企業へのコンサルタント業務の経験をもとに、スタイリング表現をする上で必要な、テーマの明確な捉え方、テーマを実現するための計画の立て方、プレゼンテーションの方法などについて授業を実施。

記載者氏名 横堀 良男

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RC2	科名	スタイリストコース	単位	1 単位
科目コード		科目名	スタイリングフォト	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 木村 哲久

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

スタイリング表現に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影など撮影方法の違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。スタイリストワークの授業と連動した撮影実習を通して表現の幅を広げていく。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. カメラの基礎知識  
撮影の基礎知識、テクニック  
カメラの名称、使い方(絞り、シャッタースピード、カラーバランスなど)
2. スタジオ撮影実習  
ストロボの扱いとデータ保存について  
撮影実習
3. スタジオ撮影実習  
個人課題 撮影実習  
テーマ: 雑誌  
スタイリストワーク授業と連動
4. ロケ撮影実習(学内ロケ)  
個人課題 撮影実習
5. ロケ撮影実習(文化スタジオ)  
年代別メイクのビューティー撮影 グループ課題 撮影実習  
スタイリストワーク授業と連動
6. ロケ撮影実習(学外ロケ)  
グループ課題 撮影実習  
テーマ: 映画  
スタイリストワーク授業と連動
7. プレゼンテーション

【評価方法】 S-C,F評価 出席、ノート、制作物

主要教材図書

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

ファッション誌のカメラマンやフォトグラファアシスタントを経て、現在フリーランスのカメラマンとして仕事をしている経験をもとにスタイリストとしての写真との関わり方を指導。実習、写真集の制作を通して、プロとして撮影の現場から写真のセレクト、レイアウト、製本までを体験させる授業を実施。

記載者氏名 木村 哲久

科コード	科名	ファッション流通科2年 スタイリストコース	単 位	2
科目コード	科目名	ヘア・メイク	授業期間	通年

担当教員(代表)：夏目 幸恵	共同担当者：高木 大輔・松本 和子 (資生堂 SABFA)
----------------	----------------------------------

教育目標・レベル設定など  
 スタイリストとして、さまざまなヘア・メイクの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げる。 美意識・美的センスを養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

①スペースバランス理論	スペースの見極め、ハイライト・シェーディング効果展示、マップ制作実習
③ メイクの基礎知識	用具の使い方・手順・ナチュラルメイクの展示、カルテ制作実習
③イメージメイクの基本	アイメイク・リップメイクの基本(直・曲の描き方 説明)
④イメージメイクⅠ・Ⅱ	直線イメージ： フレッシュ・クール展示&カルテ制作実習
⑤イメージメイクⅢ・Ⅳ	曲線イメージ： キュート・エレガント展示&カルテ制作実習
⑥ヘアスタイルの基礎知識	編み込み、くせ付のテクニック展示&実習
⑦前期試験	メイクカルテ制作試験
⑧イメージメイクⅤ	クラシックメイク 1920～1950年 各年代のファッション&メイクの特徴 50年代メイク 展示&実習
⑨イメージメイクⅥ	モダンメイク 1960年 各年代のファッション&メイクの特徴 60年代メイク 展示&実習
⑩イメージメイクⅦ	エスニックメイク 1970年 各年代のファッション&メイクの特徴 70年代メイク 展示&実習
⑪イメージメイクⅧ	アバンギャルドメイク 1980年 各年代のファッション&メイクの特徴 80年代メイク 展示&実習
⑫後期実技試験準備	イメージ作品トータル表現のマップ制作
⑬後期実技試験	イメージ作品トータル表現の実技試験(1人60分)

2コマ×13回  
—相モデル実習—

評価方法・対象・比重 授業作品(ノート)評価 + 試験評価 + 出席状況(学業評価80% 授業姿勢20%) [英数字評価]
--

主要教材図書
参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介  
 雑誌、広告、コレクションなどで活躍するプロのヘア・メイクアップアーティストからヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げるための授業を実施。